

5 林業・木材産業の振興

主担当部局(長)名
農林部長 山本 尚

目指す姿

県産材の安定供給と利用拡大を図るとともに、森林の有する多面的機能を発揮させるため森林の適切な保全と活用を図ります。

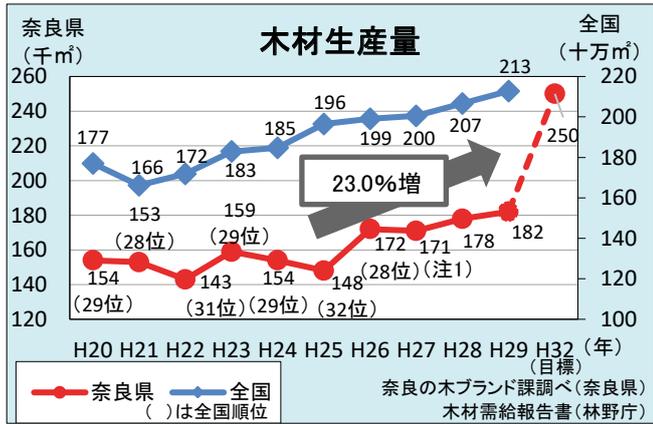


スイス・ベルン州から実習生の受け入れ

主な成果

- ・奈良県フォレスト・アカデミー構想を推進するため、スイス・リース林業教育センターから実習生4人を2カ月間受け入れ、奈良県の林業の実態を知ってもらい、また、県内林業関係者がスイスの森林管理のスキルと考え方について学びました。(平成30年度 平成31年度の実習生受け入れに向けた準備)
- ・第1種木材生産林において、特に急峻な地域については路網と連携した架線集材により、奥地の木材を搬出するための事業を実施(架線集材施設設置支援事業: 事業体、設置延長: 2,200m)しました。
- ・奈良の木の新たな魅力を発見する目的で、木材の健康効果を確認する実証試験を行ったところ、奈良県産スギ材とヒノキ材が高い健康効果を持つことが証明されました。(平成30年度 普及版のパンフレットを作成予定)

1. 政策目標達成に向けた進捗状況



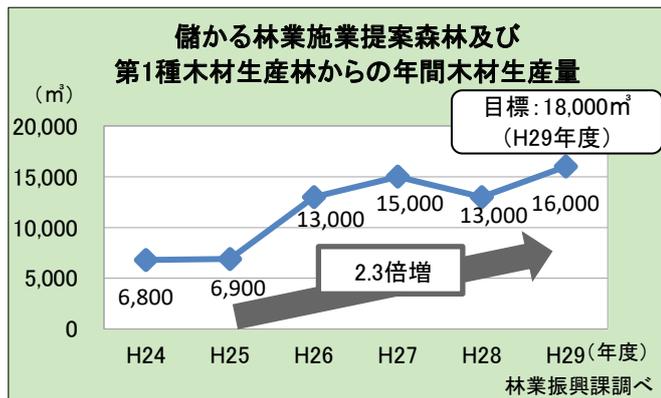
(注1) H27からは、独自調査結果の数値を反映しているため、全国順位は記載していません。

目標	平成32年までに、木材生産量を25万m³(A材 ^(注2) 148千m³、B材44千m³、C材58千m³)に増やします。(H25年: 14.8万m³)
成果	昭和40年代から平成19年にかけて木材生産量は減少の一途でしたが、下げ止まりの様相を見せており、平成26年から増加傾向で推移しています。従来的高级材を選んで出す林業から、B・C材全てを切り出す林業への転換を図る施策を推進し、平成29年の木材生産量は18万2千m³と、平成28年と比べて増加しました。

(注2) A材…建築用材、B材…集成材・合板用材、C材…パルプ・チップ用材

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	<ol style="list-style-type: none"> ① スイスをお手本とした森林環境管理制度を奈良県に導入します。 ② 平成29年度に、儲かる林業施業提案森林及び第1種木材生産林からの木材生産量を、18千m³に増やします。(H25年度: 6.9千m³) ③ 平成29年度に、県産材の自給率を62%まで向上させます。(H25年度: 55%)
------	---



目標	平成29年度に、儲かる林業施業提案森林及び第1種木材生産林からの木材生産量を、18千m³に増やします。(H25年度: 6.9千m³)
成果	儲かる林業施業提案森林や第1種木材生産林の設定を促進することで、効率的により多くの木材搬出がされるよう働きかけましたが、平成29年度の木材生産量は、台風等の影響により想定より減少し、16千m³となり、平成29年度目標の18千m³の達成には至りませんでした。